

第1問 (20点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	売掛金
クレジット売掛金	受取手形	前払金	車両運搬具
手形貸付金	差入保証金	支払手形	買掛金
未払金	仮受消費税	未払消費税	手形借入金
売上	受取手数料	受取利息	仕入
支払家賃	支払手数料	租税公課	支払利息

1. 通常業務で使用する普通自動車2台 (@ ¥1,750,000) を購入し、代金のうち ¥1,400,000 は小切手を振り出して支払い、残額は翌月から12か月の分割払いとした。なお、購入にともない発生した諸費用 ¥80,000 は現金で支払った。
2. 銀行より ¥1,500,000 を借り入れ、同額の約束手形を振り出し、利息 ¥50,000 を差し引かれた残額が普通預金口座に振り込まれた。
3. 当期に商品 ¥357,500 (消費税込) を販売し、代金は掛けとした。なお、消費税率は10%とし、税抜処理で記帳している。
4. 東京株式会社は、事業拡張につき、ビルの1階を1か月あたり ¥130,000 にて賃借する契約を結んだ。なお、契約にあたり敷金(家賃の2か月分)と仲介手数料(家賃の1か月分)と初月家賃を普通預金口座から振り込んだ。
5. 商品 ¥600,000 をクレジット払いの条件で販売した。また、信託会社への手数料(販売代金の5%)を計上した。

第2問 (10点)

次の1月におけるA商品に関する<取引等>にもとづいて、下記の問に答えなさい。

<取引等>

- 1月1日 A商品の前月繰越高は、200個 (@ ¥1,300) であった。
- 6日 A商品100個を @ ¥1,330 で仕入れ、代金はすべて現金で支払った。
- 10日 A商品150個を @ ¥2,000 で売上げ、代金はすべて現金で受け取った。
- 15日 A商品500個を @ ¥1,320 で仕入れ、代金は掛けとした。なお、当社負担の引取費用 ¥1,500 を現金で支払った。
- 20日 A商品350個を @ ¥2,100 で売上げ、代金はすべて現金で受け取った。
- 25日 15日の掛代金の支払として、小切手を振り出して支払った。

- 問(1) 1月のA商品の商品有高帳を作成しなさい。なお、払出単価の決定方法は移動平均法を採用し、摘要欄の記入は「仕入」または「売上」とする。
- (2) 商品の払出単価の決定方法として先入先出法を用いた場合における、1月のA商品の売上総利益と月末商品棚卸高を答えなさい。

第3問 (32点)

答案用紙の2019年12月31日の合計試算表と次の「1月中の取引」にもとづいて、答案用紙の2020年1月31日の合計試算表を作成しなさい。なお、取引銀行（乙銀行）と借入限度額を¥600,000とする当座借越契約を結んでいる。

「1月中の取引」

- 4日 大分株式会社から商品¥500,000を仕入れ、代金のうち¥315,000は当座預金口座（甲銀行）より小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。
- 5日 別府株式会社に商品¥650,000を売り上げ、代金は掛けとした。なお、先方負担の発送費¥3,000を現金で支払い、この金額は掛代金に含めることとした。
- 7日 レジスター（備品）を¥110,000で購入し、代金は翌月末に支払うこととした。
- 8日 未払金¥112,000を当座預金口座（乙銀行）から支払った。
- 9日 先月の給料にかかる所得税の源泉徴収額¥15,000を現金で納付した。
- 10日 中津株式会社に対する売掛金¥120,000について、同社の承諾後、電子記録債権の発生記録を行った。
- 12日 従業員が出張から帰社したため、旅費交通費の精算をし、残額の¥14,500を現金で受け取った。なお、出張に際して、この従業員に現金¥60,000を仮払いしていた。
- 14日 佐伯株式会社に注文していた商品¥650,000を受け取った。代金のうち¥300,000は佐伯株式会社宛ての約束手形を振り出し、¥200,000はすでに支払っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。
〃 白杵株式会社に商品¥455,000を販売し、代金のうち¥200,000は自治体が発行した商品券を受け取り、残額は掛けとした。
- 16日 大分株式会社に対する買掛金¥340,000について、同社の承諾後、電子記録債務の発生記録を行った。
- 17日 白杵株式会社に対し販売した商品のうち¥5,000の品違いがあったため返品され、掛代金から差し引くこととした。
- 18日 大分株式会社から商品¥450,000を仕入れ、代金は掛けとした。なお、商品の引取運賃（当店負担）¥2,000は現金で支払った。
〃 別府株式会社より掛代金¥219,000が当社の当座預金口座（乙銀行）に振込まれた。
- 20日 大分株式会社に対する買掛金¥185,000のうち、当座預金（甲銀行）より小切手¥100,000を振り出し、残額については約束手形を振り出して支払った。
- 23日 大分株式会社に対する電子記録債務のうち、¥130,000について当座預金口座（甲銀行）より引き落とされた。
- 25日 当月分の従業員の給料¥180,000につき、所得税の源泉徴収額¥15,000を控除した残額を、普通預金より支給した。
- 26日 商品代金支払いのためかねてより振り出していた約束手形¥70,000の代金が当座預金口座（甲銀行）から引き落とされた。
- 30日 水道光熱費¥28,000と今月の家賃¥65,000が当座預金口座（乙銀行）より引き落とされた。

第 4 問 (8 点)

次の各証ひょうにもとづいて、取引時に必要な仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこととし、収入印紙および消費税について考慮する必要はない。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	商	品												
仮	払	法	人	税	等	備	品	買	掛	金	未	払	金										
未	払	法	人	税	等	仕	入	消	耗	品	費	法	人	税	、	住	民	税	及	び	事	業	税

(1) 以下の納付書にもとづき、当社の普通預金口座から法人税を振り込んだ。

領 収 証 書			
科目		本 税	¥700,000
	法人税	〇 〇 〇 税	
		△ △ △ 税	
		□ □ 税	
		× × 税	
住所	長野県長野市〇〇	合計額	¥700,000
氏名	株式会社柑橘商事		
			納期等 X80401 の区分 X90331
			中間申告 確定申告
			<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <div style="text-align: center;"> <p>出納印</p> <p>X9.05.30</p> <p>林檎銀行</p> </div> </div>

(2) X9年 3 月 17 日に事務作業に使用する物品を購入し、品物とともに次の請求書を受け取り、代金は後日普通預金口座から振り込んで支払うこととした。

請 求 書			
南瓜開発株式会社 様		株式会社瓜電子	
品物	数量	単価	金額
プリンター用インク	2	30,000	¥ 60,000
印刷用紙 (1,000枚入)	8	3,000	¥ 24,000
新型デスクトップパソコン	3	360,000	¥ 1,080,000
合計			¥ 1,164,000
<p>X9年 3 月 31 日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。</p> <p>西瓜銀行渋谷支店 普通 0123456 カ) ウリデンシ</p>			

第 5 問 (30 点)

次の決算整理事項等にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。なお、会計期間は 2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までの 1 年間である。

決算整理事項等

1. 当座預金勘定の貸方残高金額を借入金勘定に振り替える。なお、取引銀行とは借越限度額を ¥1,000,000 とする当座借越契約を結んでいる。当座借越の利息は考慮しない。
2. 期末に商品 ¥150,000 を販売した際、得意先からあらかじめ受け取っていた ¥30,000 を充当していたが、誤ってすべてを掛け取引としていたことが判明した。
3. 剰余金の配当処分をする際、利益準備金の積立て ¥40,000 の処理を行っていなかった。
4. 仮払金は、12 月中に出張した従業員に対する旅費交通費の概算額である。なお、従業員はすでに出張から戻っており、残額 ¥17,000 は現金で受け取っているが、この処理を行っていなかった。
5. 売上債権の期末残高に対して 2% の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
6. 期末商品棚卸高は ¥190,000 である。なお、売上原価は「仕入」の行で計算する。
7. 建物および備品について減価償却を行う。
建物：残存価額ゼロ 耐用年数 45 年 定額法
備品：残存価額ゼロ 耐用年数 20 年 定額法
8. 12 月分の従業員に対する給料の未払いが ¥78,000 ある。
9. 借入金は、2018 年 11 月 1 日に借入期間 3 年、年利率 3% で借り入れたもので、利息は毎年 10 月末に支払うことになっている。利息の計算は月割りで行う。
10. 保険料は 2019 年 6 月 1 日に向こう 1 年分を支払ったものである。